

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

45号

2012.10.13 発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

5月13日(日) … なごや生物多様性センター オープニングイベント参加/特別活動

5月26日(土) … 小屋周辺整備 part I /定例活動

6月23日(土) … トンボ池周辺整備&竹林整備/定例活動

7月28日(土) … 小屋周辺整備 part II /定例活動

8月25日(土) … クラフト/定例活動

9月22日(土) … 柴刈り大会/定例活動

5月定例活動

小屋周辺整備 part I

【報告】 5月26日(土)、懸案となっていた森くらぶの2棟のプレハブ小屋をつなぐ部分の屋根掛けを行いました。建設作業の足場などに使われる単管を使った仮設の小屋で、骨組みは鋼管、屋根はポリカーボネート製トタン、壁はないものの約10㎡の広さをもった空間ができ、これまで小屋に苦勞して片づけていた脚立などの長ものや、一輪車などを置くことができ、小屋が広く使えるようになりました。

【経過】 当日の朝、ホームセンターで単管(2~4m) 20本、ラチェットスパナなどを買込み、

一路オアシスの森へ。すでに建設予定地では、村田さんの指示のもと、コンクリート平板の据付作業が始まっており、さっそく組立作業の開始です。脚立が2本しかない上、慣れない作業に少々手こずりながらも、午前の1時間半ほどで大まかな骨組みが出来上がりました。

20名を超える会員が集まり作業も思ったより進んだため、今日中に屋根まで掛けようと思い立ち、即資材の買出しに。屋根掛け作業を進めていたところ、垂木部分の強度不足に気づき、さらに足場単管の短材が必要に。ばたばたとホームセンターを往復し、結局4時近くになって完成。ビールやお茶で完成を祝い、看板も掛け、出来上がりです。

【お礼】 事前の開墾から地ならし作業など、都合3ヶ月ほどをかけての完工です。作業に関わった会員の皆さん、お疲れ様でした。また、今回材料費として約10万円ほど必要としましたが、このお金は会員の野浪さんが昨年度クラブに寄付して下さった資金を活用させていただきました。本当にありがとうございました。(大館)



▲当日作業のようす

なごや生物多様性センター オープニングイベント参加

なごや生物多様性センターが天白川と植田川との合流地点付近の環境事業所内にオープンし、その記念行事が5月12・13日(土・日)に開催。私たちはその二日目にブースを出展しました。

環境保全に参画する各種グループ、小生にとっては大いに学習の場となりました。

少しわかりにくい場所で午前中の入場者は非常に低調、心配する

ほどでしたが午後には松ぼっくりのエビフライ作りに人が途絶えることなく、二人のお孫さんのため



▲ブース出展のようす

に挑むご婦人もおられました。

「葉書」の語源となる葉っぱにメッセージを書くとか、ブラックバスのフライを食するなどの結構ユニークなブースもあり、加えてプレーパーク小屋火災の直後でもあり、それぞれスタッフ間の意見交換が交わされていたように思います。

ひと言、ブラックバスはかつて味わった塩焼きよりフライの方が遙かに美味。(早川)

6月定例活動

トンボ池周辺整備 & 竹林整備

くらぶ員16名に加え、環境デーなごや「身近な自然体験会」の一環として、子どもを含めた一般市民16名も参加、総勢32名のにぎやかな会になりました。メニューもトンボ池周辺の草刈り、ヤゴの観察、ジャガイモ掘り、竹林除伐、ノコギリ手入れと多彩でした。天気は薄曇りで気温も上がらず、蚊



▲ヤゴ探しに夢中の子どもたち

も少なくても絶好の日和でした。

多勢とはすごいもので、トンボ池周辺はあっという間にきれいになりました。その後、ヤゴの観察に移りましたが、昨年と比べるとヤゴの数が激減し、その代わりにザリガニを多数捕獲、駆除しました。

続いてジャガイモ掘りをしました。今年の悪天候にもかかわらず豊作で、大人も子どもも歓声を上げて収穫。一部は焼きジャガにしましたが、ホクホクで全員がホクホク顔に。今回参加した子どもは全員男の子で、昼休みには、捕獲して処分予定だったザリガニで遊び始めました。ザリガニに関する知識が豊富なのと、ひたすら戦わせて盛り上がっている



▲子どもたちが最も印象に残ったと答えた竹伐り

のを見ていて、男の子は男の子、本質は変わっていないと妙に感じしました。

午後はトンボ池北側の竹の除伐。これも多勢のため、あっという間にスッキリしました。ノコギリの手入れもきちんとして終了となりました。

最後に子どもたちに感想を聞くと、全員から「楽しかった!」、何が一番印象深かったかと再度尋ねてみると「竹伐り!」と頼もしい答えが返ってきました。

子どもたちが何かを学び感じてくれた一日だったようです。

(伊藤)

7月定例活動

小屋周辺整備 part II

7月定例会(7月28日)は炭焼き小屋周辺の整備として、木製デッキのリニューアルに向けて既設デッキの撤去作業を行った。

既設デッキ(2代目、平成19年設置)は昼休みの休憩、竹炭の端材作り、椎茸の菌打ち等森の作業時に大変重宝していたが、さすがに設置後5年を経過して土台や本体が腐り始め、もはやデッキとしての役目を果たせない状態になっていた。2代目デッキの設置にあたっては初代デッキの老朽化のプロセスを研究して、土台の木部を焼くなどの入念な処理を施して作

ったものの、雨ざらしの環境においてはこれが寿命であった。

作業当日は摂氏35度を超える猛暑のなか10人を超える会員が集まった。

当日はデッキの解体と小屋周りの雨水排水側溝の設置等も行った。(女性陣は畑の草取りを実施。)

炭焼き小屋の周りを土等で盛り上げて、さながら輪中堤の様に囲い、小屋に土砂が流れ込みにくくする整地をして、堤の外側に一部側溝を設置するものである。

撤去した廃材は腐って虫がわく様な状況で気持ち悪かったが、何とか撤去作業を終了することができた。作業は猛暑時の体調管理も考えて、午

前中いっぱい終了した。

今回の作業は力仕事であり、過酷な環境での会員の皆様方の働きには頭が下がります。この先デッキの新設も大変な作業になると思うが、新しいデッキが早く完成することが楽しみである。

皆様、暑い中の作業本当にご苦労さまでした。(村田)



▲古いデッキを撤去。新しいデッキの完成が待ち遠しい

9月定例活動 柴刈り大会

猛暑続きだった今夏も、お彼岸を迎えて暫くさよならできそうです。作業の始まる前に、くらぶ会員の名簿が配られました。これで43名の会員との連絡が楽になります。係りの方、ありがとうございました。

本日の参加は十数名。“いのちの谷”を目指して行動開始。トンボ池横の道を上り、集いの広場へ向かう途中の右手が作業場です。この辺りは、下方の竹林が少しず

つ上へと広がり、放置すれば数年後には立派な竹藪と化すと思える状況です。成長しすぎて頂が見えないほどの竹が繁茂し、他の樹木の邪魔をしています。



▲竹の除伐作業の様子

詳しい仲間の知恵で、地上70～80cmの位置で竹を切りました。切りやすく、また自然に朽ちるといってお話です。切った竹を倒すのも大変で、枝下ろしも思った以上に骨が折れました。しかし多勢の仲間の手による作業で、徐々に一帯は明るくなり、その成果が目に見え出すとうれしさも増しました。

ここまで生長させる前に手入れができれば、ずっと楽なので

はないかと思いましたが、地主さんの思いもありそうで難しい問題でしょうか。

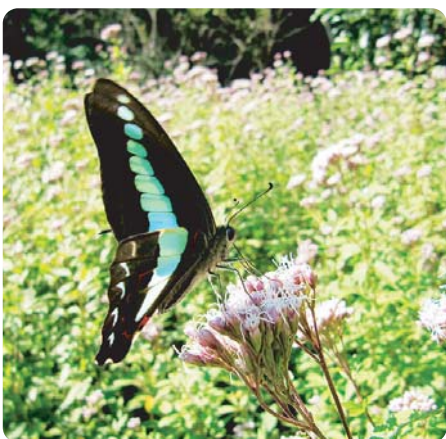
直射日光はまだ強く、午後の作業は無理のないようにとの声で、私たちは元気な方々に後を託しました。お疲れさまでした。

なお、目下、野浪さん指導のもと炭焼き窯をクリーニング中です。中に溜まったタールを掻き出し、来シーズンに備えています。楽しみですね。
(河野 慶)



シリーズ『森の住人たち』③①

～アオスジアゲハ（青条揚羽）～



▲フジバカマに吸蜜に訪れたアオスジアゲハ

アオスジアゲハ（青条揚羽）	アゲハチョウ科
体長	開帳7cm
成虫出現期	5月～10月頃（越冬態：さなぎ）
分布	本州以南～八重山
食樹	クスノキ、ヤブニッケイ、タブノキなど

本を読んでいると、なにかがさつと横切っていった。その方向を目で追う。チョウだ、アオスジアゲハ。しかし、なぜここにいるのだろう？

本を読んでいた「ここ」の場所は、地下鉄「新瑞橋駅」で列車に乗り、「神

宮西駅」を通り過ぎたあたりのことである。アオスジアゲハは、名古屋市内の公園や街中でもよく見かけるチョウである。しかし、地下鉄車内とは驚きである。

アオスジアゲハ（青条揚羽）、その名が示すように黒色の翅に青色のひとすじの帯状模様がある。黒色の前翅と後翅にひらがなの「く」の文字を、青色の筆でのびやかに描いたようなそんなイメージだ。食樹のひとつクスノキは、街路樹として植栽されていることも多く、また神社などにも多い。そのため元来の生息地である森や林はもとより、街中のチョウでもある。成虫は、ヤブガラシやイボタ、トペラなどの白い花を好んで訪れる。翅を小刻みに動かしながら

吸蜜する姿や、飛び方が敏捷で飛翔力が高く、花の回りをめまぐるしく飛び回る姿は、どこか多忙な人間を想像させる。クスノキやタブノキなどの新芽に産卵し、そのさなぎは、クスノキの葉に似ている。天敵である昆虫類や鳥類の目から逃れるために、葉に似せた知恵は、驚異でもある。

秋近し。フジバカマが開花する。アオスジアゲハが吸蜜にやってくる。黒色の翅に浮かび上がる鮮やかな青色、その対比は非常に美しく、多数の人の心に強い印象を残すチョウ。機敏に移動するアオスジアゲハは、やはり緑の空間で観察したいイチョウである。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

8月定例活動

クラフト

8月25日(土)、猛暑の中クーラーの効いた相生小学校研修室でクラフトを行った。例年暑いこの時期は室内でのクラフト製作で会員の技術向上を図っており、10時の作業開始時の参加者は12名。

森で除伐した木や竹を使って、各自が作りたい物に挑戦。太い竹

を利用したプランター、水鉄砲、竹筒の花瓶、桜の木から削り出したスプーン、焼き杉のプランターカバーなどなど。クラフト作成を始めてみるとなかなか思うようにできない様子の方もいる。そこで、野浪さんから小刀などの道具の使い方の指導を受けながら作業を続け午前中が終わった。昼食後一時間ほど作業を続けて各自が納得するものができたようでした。

ここで製作した作品や技術は10

月の区民祭りなどで活用することで、多くの人たちに森の作業と発生材の有効活用をアピールできると思う。

午後2時半に解散。みなさん暑い中お疲れ様でした。(森)



Schedule

【今後の活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は 炭焼き広場 10:00集合

●：運営委員会 [第2土曜 午後13:30～ 相生小学校研修室]

☆10月27日(土) 第14回どんぐり祭り

★10月28日(日) 天白区民まつり参加 (天白公園にて)

★11月10日(土) 高坂PTA生涯学習センター講座 (午前10:00 相生口集合)

★11月11日(日) 巣箱整備 (午前9:00 集いの広場集合)

●11月11日(日) 運営委員会

☆11月24日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

★12月8日(日) 餅つき (野浪さん宅にて) (午前9:00 JR勝川駅集合)

●12月8日(土) 運営委員会 【注意! 餅つき後に現地で開催】

☆12月22日(土) 正月準備&梅の剪定

2013年

●1月12日(土) 運営委員会

★1月19日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆1月26日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月9日(土) 運営委員会

★2月16日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆2月23日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月9日(土) 運営委員会

★3月16日(土) 竹炭焼き (午前7:00～)

☆3月23日(土) 第15回萌木祭り&竹垣整備

【Eメール】

Mail address : aioiyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

Information

●●● 会員募集中! ●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【事務局(参加申込み・お問合せなど)】

伊藤 晶子 052-895-8523

中島 己治男 052-803-9534

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています!
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!

【ホームページ】

URL address :

http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。